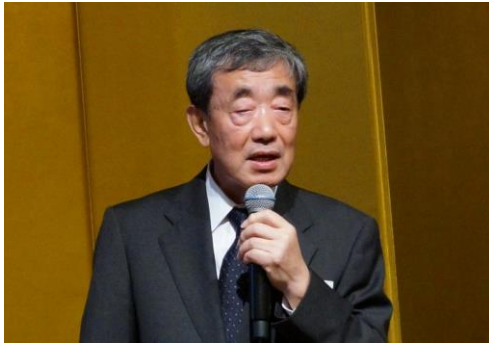


第40回一志会例会 レポート 平成29年6月6日



ゲスト 松本 晃 氏

一志会は、「公の精神」のもとに積極的に社会的責任を果たそうとの想いを共有する大企業経営幹部の「コミュニティー」ですが、6月6日に第40回例会を開催しました。

今回は、カルビー株式会社 代表取締役会長兼 CEO の松本晃氏をゲストにお迎えして、「Our Business is People Business」と題して講話をいただきました。

松本氏は1947年京都府にて生まれ、京都大学大学院修了後、伊藤忠商事に入社。1993年にジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人に転じて社長などを歴任、2009年、カルビー創業家の要請を受けて、カルビー代表取締役会長兼 CEO に就任。成熟する菓子業界の中にあって、業務改革・意識改革を推進して、高収益企業に変身させた経営手腕は高く評価されています。一柳は、日本で数少ないプロ経営者のお一人として松本氏を尊敬しており、今回、会員の外波山様のご紹介によりご登壇いただきました。

松本氏は、冒頭、日本は1990年代を境に状況が全く変わってしまい、変化しないと生き残れない時代になっている、しかし変化とは難しいものだと言われました。なぜなら、変化とは既得権を奪う事であるため、その抵抗は強く、よって打破するためにはトップ自ら率先垂範で実行する必要があると言われました。

次に、経営とは、「全てのステークホルダーを喜ばせ、世の為人の為に儲けることである」、これが求められる「成果」と言われました。そのために必要な3要素として、VISION、PLAN、LEADERSHIPがあり、自身が行ってきたカルビーの経営は、「成果」に繋がる「環境」、「制度」を整え、「しくみ」、「文化」を変えるために、上記3要素を実践してきたと言われました。また、ダイバーシティの重要性についても述べられ、ダイバーシティは企業成長のエンジンであり、女性の活躍が企業の成長に繋がるのだと強調されました。

最後に LEADERSHIP について言われました。部下から求められる LEADERSHIP とは、圧倒的な「実績」、なるほどと思わせる「理論」、こんな人についていきたい「人徳」であり、強いリーダーになるためには「伝える」、「決める」、「逃げない」ことが求められるのだと言気を強められました。強い LEADERSHIP が組織を強くするのだと締め括られました。

松本氏の静かな口調の中にも確固たる自信に裏打ちされ語られた経営哲学に、参加された会員は皆引き込まれ、「強い LEADERSHIP とはどのようなものか理解できた。」「実績に裏打ちされた経営哲学は納得感が高く、自己の組織を強くするために何が必要かを考え抜きたい。」等の意見が聞かれました。



歓談風景

続いて、今回初参加となる、小沼・東京証券取引所 取締役常務執行役員、馬場・大日本住友製薬 執行役員、山田・あいおいニッセイ同和損害保険 理事から自己紹介を頂きました



東京証券取引所  
小沼氏



大日本住友製薬  
馬場氏



あいおいニッセイ  
同和損害保険  
山田氏

また、会員の交流時間帯では、会員スピーチとして、石田原・大日本住友製薬 取締役より一言いただきました。

続いて、会員スピーチのコーナーで、ミクニの生田 代表取締役社長 COO から、「技術者育成とブランディング」と題し、会社の成り立ちやバイクレース参戦についての狙いについてお話しいただきました。



大日本住友製薬  
石田原氏



ミクニ 生田氏  
会員スピーチ風景

その後、井戸・パナソニック 役員より9月に行う、一志会特別例会「藤沢 SST 施設見学会」についてのご案内をいただきました。

中締めまで松本氏を囲んでの交流が続き、大変にぎやかな雰囲気となりました。



パナソニック  
井戸氏